



モノ、ヒト シゴト

TOYOKAWA PRODUCE

豊川市が誇るモノづくりと、それに携わるヒト
を紹介します。

さらなる頂を目指して

VOL.
47

新東工業株式会社
 casting事業部・北山 隼次さん

世界トップシェアの鑄造設備

自動車や船舶向けの部品などを作る鑄造設備の製造において、世界トップシェアを誇る新東工業。鑄造とは、高温で溶かした金属を、砂などで作った型の空洞部分に流し込み、冷やして固めた製品・鑄物をつくること。

鑄造設備の設計を担当する北山さんは「身の回りのあらゆるものを生み出す鑄造設備の、設計・製造から現場への据え付けまでを一貫して行えることが強み」と話す。

ニーズに合わせたモノ作り

新東工業では、顧客の要望に合わせ、大量生産だけでなく一点物の製造にも対応できる、さまざまな鑄造設備を製造している。これらの設備からは、船舶の大きなエンジン部品から、マンションホールの蓋や鍋などの身近なものまで、多種多様な製品が作り出される。

ニーズに合わせた設備の計画・設計をチーム全体で進め、綿密に話し合いを重

ねること、不具合を未然に防ぎ、より満足度の高い設備を提供。近年は、IT技術の導入など、顧客が設備に求める条件も複雑化しており、設計から据え付けまでに3年以上かかることもあるという。

また、自ら現場に足を運び、稼働前の最終確認を実施。そこで不具合が見つかったら、後工程に影響しないよう、現場で部品を調整したり再度設計を行ったりする。「大規模な設備の設計を任されていることや、身の回りがある、なくてはならないものが自分の技術によって生み出されていることにやりがいを感じる」と北山さんはいう。

温故知新で世界へ

自動車の電動化など、時代が変化する中、常に新しい技術にチャレンジすることが求められる。「鑄造という技術を基に、新しい時代に対応していく姿勢を大切にしたい」と北山さん。世界の鑄物製造を支えるため、これからも技術者たちの挑戦は続く。

新東工業株式会社

豊川製作所:穂ノ原3丁目1

1934年設立。自動車や船舶向けの部品などを作る鑄造設備の、設計・製造から現場への据え付けまでを一貫して手掛ける。設備は国内外に提供され、世界トップシェアを誇る。



1 砂を固めて型を作る機械「造型機」2 ポストやフライパンなど、鑄造設備から作られるさまざまな製品 3 IT技術の導入など、複雑化する顧客のニーズに合わせて計画・設計を行う